

FURUTECH

Review

Net Audio

2010 Winter vol.01 - Japan



特集 USBオーディオ大スクランブルテスト

アナログとデジタルの融合を果たした ADLのフォノイコ搭載DAC

ADL
GT40 USB DAC
¥41,790

Hearing & Test
山之内 正
Masamichi Yamamuchi

USB入力
(最大サンプリング周波数/bit数)
▶ 96kHz/24bit



REAR PANEL

本機の背面。1系統でフォノイコライザー機能への切り換えも可能なRCA入力を備える



SPEC ● 型式: USB & アナログ入出力対応オーディオ ● 入力: USB (B端子) × 1, アナログ (RCA) × 1 (アナログ入力はスライドスイッチによりMC/MM-LINEの3入りに切り換え可能) ● サンプリング: 96kHz/24bit (最大) ● 周波数特性: 20Hz~20kHz ● SN比: -90dB ● サイズ: 150W×57H×111Dmm ● 質量: 約785g ● 取り扱い: フルテック様

自然な周波数を基本に
誇張のない素直な音調

さまざまな形態のUSB DACが登場しているが、フルテックが新たに展開するアルファデザインラボのGT40は、そのどれも異なるユニークな機能を搭載している。そのユニークな機能とは、レコードプレーヤーをつなぎ、カートリッジの出力をデジタル信号に変換してUSBから出力する機能のこと。つまり、USB DACとフォノイコライザーアンプを一体化したUSBオーディオインターフェースとして設計されているわけだ。ちなみにフォノイコ機能はMMだけでなくMCカートリッジにも対応している。また、ヘッドホンアンプを内蔵しているのも、本機単体でのモニターも可能だ。

レコードをデジタル化することは利便性だけでなく、音質面でのメリットもある。そのメリットを最大限に引き出すためには、フォノイコとUSBインターフェース両方のクオリティが肝心だ。そこで本機はS/PDIFなど他のデジタル入力を省略し、機能



本機1台でUSBオーディオからアナログまでを広くカバーできるマルチユースな1台。アナログレコードの音声信号をUSBからも出力するユニークな機能を備える。さまざまなフォーマット、メディアを楽しむオーディオファンにお薦めだ。

USB DACとしては、自然な周波数バランスを基本に、誇張のない素直な音調を実現している。フォノイコライザーとしても低音や高音の強調感がなく、レコードとカートリッジの特徴を忠実に再現する点に良さがあり、S/Nも同価格帯のイコライザーを上回る水準を実現している。レコード資産を生かしたい音楽ファンにお薦めのUSB DACであり、手頃で使いやすい製品だ。

USB DACとしては、自然な周波数バランスを基本に、誇張のない素直な音調を実現している。フォノイコライザーとしても低音や高音の強調感がなく、レコードとカートリッジの特徴を忠実に再現する点に良さがあり、S/Nも同価格帯のイコライザーを上回る水準を実現している。レコード資産を生かしたい音楽ファンにお薦めのUSB DACであり、手頃で使いやすい製品だ。

パーツの品質を吟味し、音質最優先の設計を貫いている。パソコンの電源を利用するバスパワー動作ではなく、専用のACアダプタから電源を供給する方式を採用しているのも、そこに理由がある。もちろん、微小電流を扱うアナログのフォノ回路とデジタル回路の間のノイズ干渉にも細心の注意を払っている。